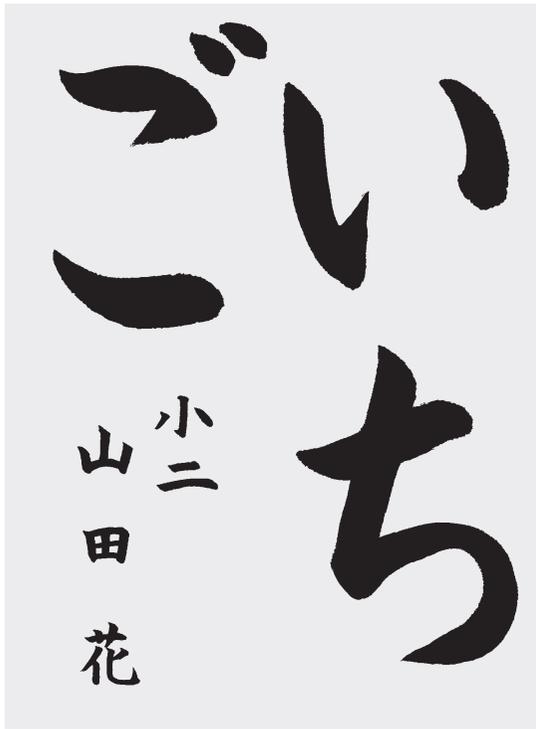


〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



片岡豪峰先生

幼・小学1年参考手本



半田藤扇先生



小竹石雲先生



広瀬舟雲先生

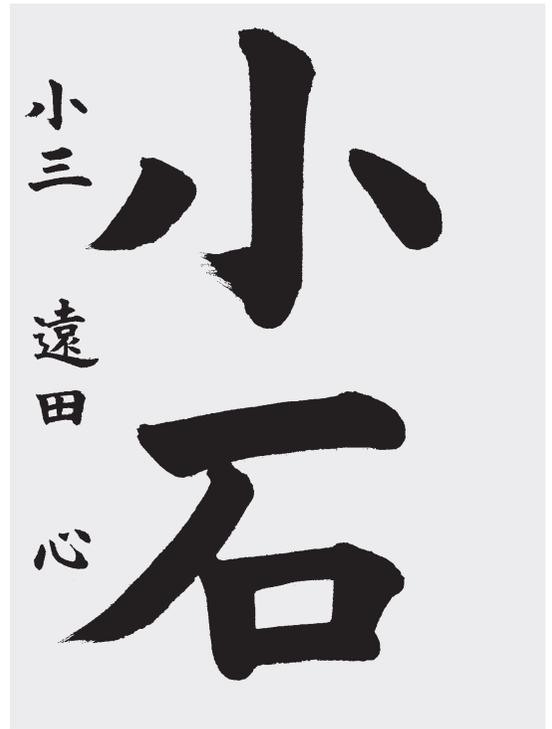
〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

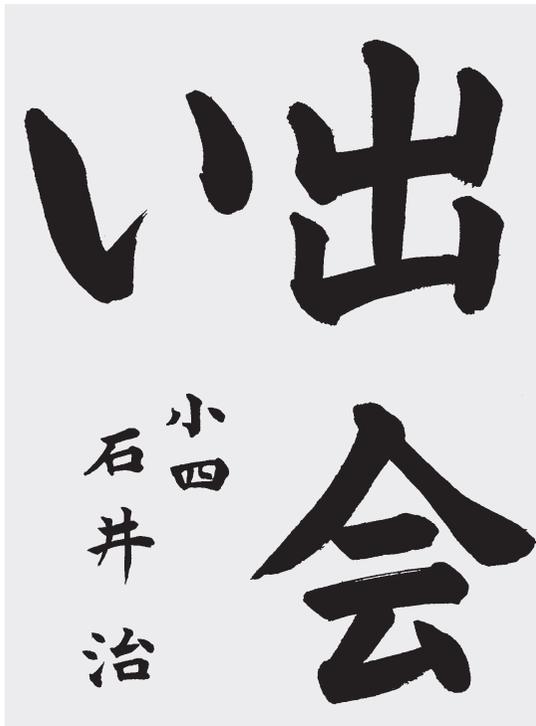


前田龍雲先生

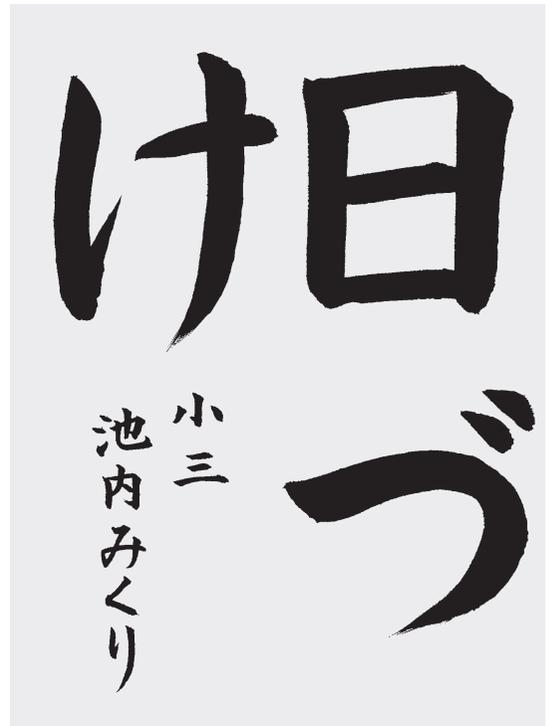
小学3年参考手本



名越蒼竹先生



辻元大雲先生



稲垣小燕先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



東福青篁先生

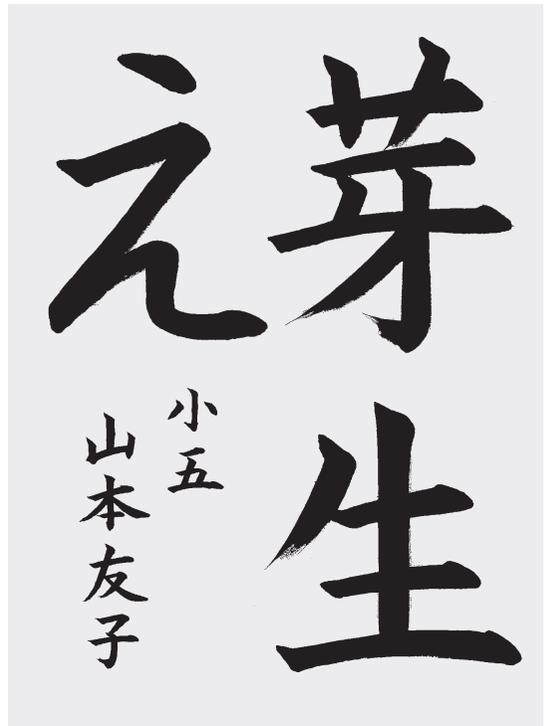
小学5年参考手本



川島舟錦先生



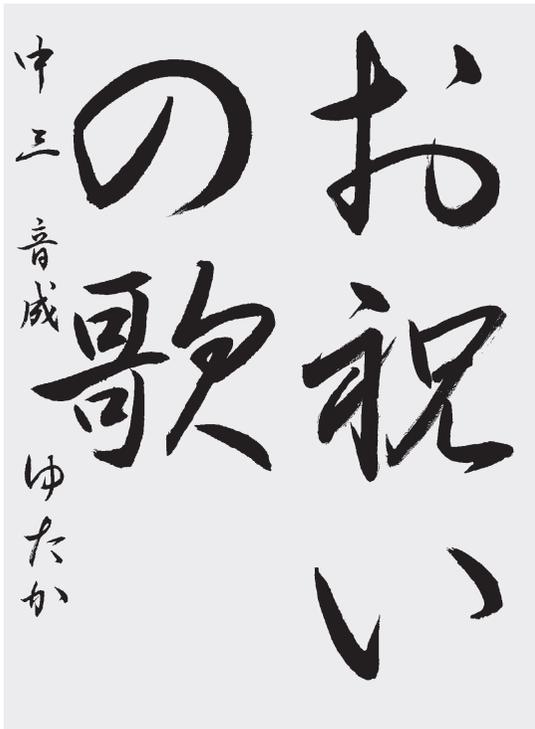
大平邑峰先生



工藤永翠先生

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

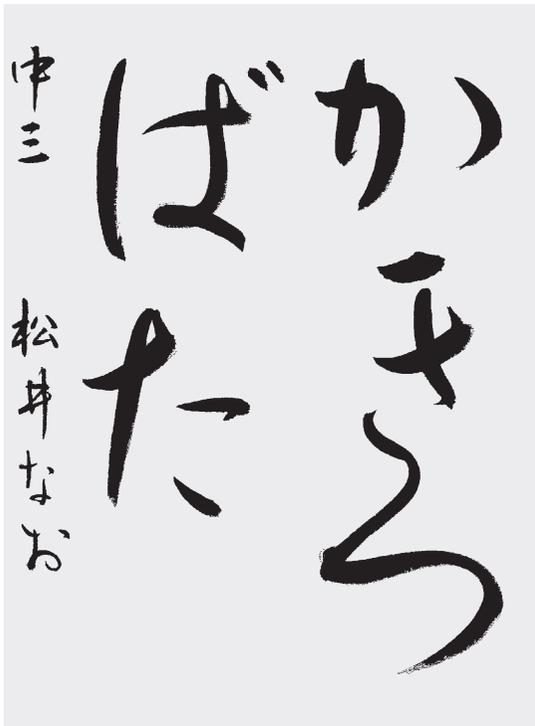
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



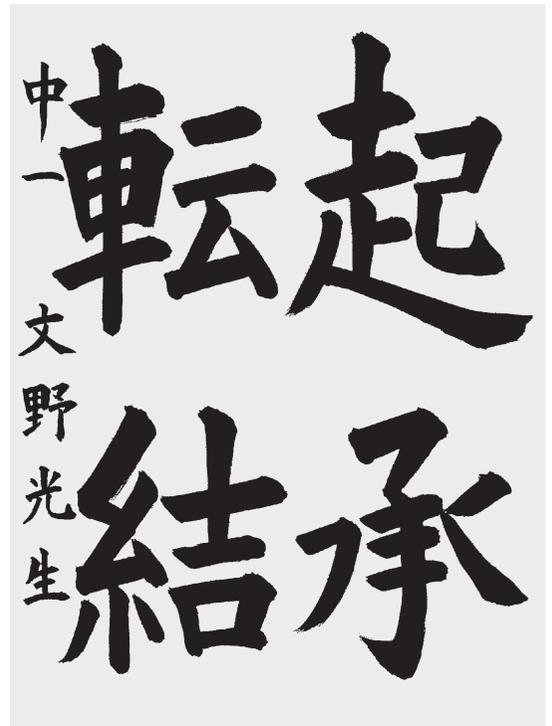
佐藤希雲先生



佐藤菜扇先生



下谷洋子先生



種谷萬城先生

毛筆参考手本解説(1)

1年

はらう



利利わり



活字と手書き文字の
の違いに気をつけて
書きましょう。

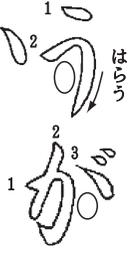


てん(ゴ) てん(明) てん(教)

2年



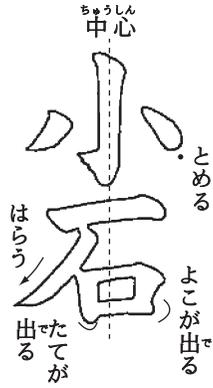
いち(口) いち(明) いち(教)



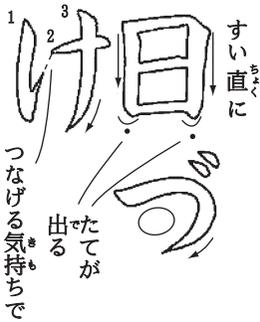
か(明) か(教)

うがい(ゴ) うがい(明) うがい(教)

3年



小石(ゴ) 小石(明) 小石(教)



けい(ゴ) けい(明) けい(教)

4年



走者(ゴ) 走者(明) 走者(教)



い出(ゴ) い出(明) い出(教)

5年



地球(ゴ) 地球(明) 地球(教)



芽生(ゴ) 芽生(明) 芽生(教)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

毛筆参考手本解説(2)

6年

中心
友情
等間隔に
長く
とめる
1 2 3

《筆順》

一ナ方友

ハハハ性情情あける
とめる



友情(ヨ) 友情(明) 友情(教)

中学

まっすぐ
大志
長く 点の位置に注意
とめる

《筆順》

一ナ大

一十士士志志

そろえる

大志(ヨ) 大志(明) 大志(教)

中心
宇宙の旅
とめる
たてが出る
とめる

《筆順》

一六六六六

一六六六六宇宙

1 2 3
宇宙の旅(教)

宇宙の旅(ヨ) 宇宙の旅(明)

宇宙の旅(教)

起承
結承
長くする

《筆順》

十キ走起起起

一了了了了承承承

一巨車車車車転転

一系系系系結結
起承転結(ヨ) 起承転結(明)

起承転結(教)

やさしい行書

お祝い
の歌

「しめすへん」

楷書

行書

ネ ↓ ネ

・漢字よりひらがなをすこし小さく書く。
・ひらがなも行書にあわせる。

かきつ
ばた

筆脈に気を付けて、次につながる気持ちで書きましよう。
※点画と点画が筆の動きとしてつながっていることを「筆脈」という

ひらがなの字源

(390)

「国語科書写の理論と実践」
全国大学書写書道教育学会編より転載

た	は	つ	き	か	字源
太	波	川	幾	加	字
た	は	つ	き	か	形

※字源については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には字源に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

連綿のない作品例

かきつ
ばた

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 2 年

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

支 部 名				
段・級				
学 年	二			
名 前	上山花			
	の	に		
	な	わ		
	え	に		
	を	ニ		
	う	ト		
	え	マ		
	た。	ト		

支 部 名				
だん・きゅう				
がくねん	一			
なまえ	おかのまさと			
	は	い		
	さ	ろ		
	み	え		
		ん		
	の	ぴ		
	り	つ		

1. 1. とめ
2. 2. とめ
3. 3. とめ
を(を)を明(を)を教(を)

1. 1. 中心
2. 2. 中心
3. 3. 中心
な(な)な(な)な(な)な(な)な(な)

1. 1. つづける
2. 2. つづける
3. 3. つづける
に(に)に(に)に(に)に(に)

かたちをよくみて、ていねいにかきましよう。

1. 1. 上のあがる
2. 2. の(の)の(の)の(の)の(の)

1. 1. おれ
2. 2. おれ
3. 3. おれ
み(み)み(み)み(み)み(み)

1. 1. 中心
2. 2. 中心
3. 3. 中心
ん(ん)ん(ん)ん(ん)ん(ん)

「とめ」「おれ」「はらい」をただしくかきましよう。

〔5月7日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

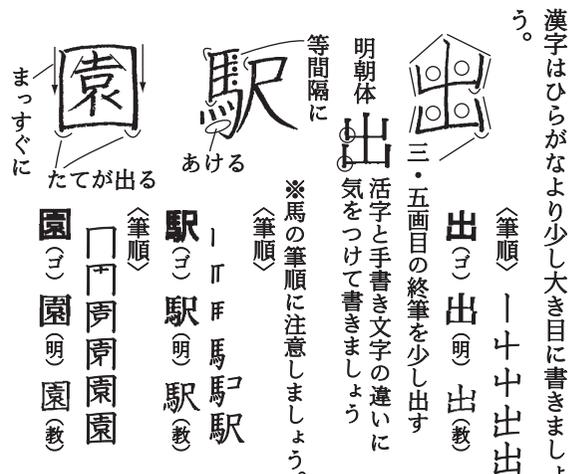
小学 5 年

支部名	送	を	身
段・級	の	取	の
学 年	番	り	ま
名 前	組	上	わ
	を	げ	り
	作	て	の
	ろ	、	事
	う	学	が
	。	校	ら
		放	
六			
植田万未子			

支部名	コ	は	友
段・級	が	、	だ
学 年	あ	駅	ち
名 前	る	の	と
	公	近	出
	園	く	会
	で	の	っ
	し	ブ	た
	た	ラ	の
	。	ン	
五			
松木百花			



漢字とひらがなをつりあいよく書きましょう。
一度止めてはらう
「方」の筆順に注意
（筆順）
フ、カ、ガ、放
放（明）放（教）
（筆順）
フ、ニ、关、送、送
送（ヨ）送（明）送（教）
文字の中心に注意して
バランスよく書きましょう。
（筆順）
一、二、平、采、番、番
番（ヨ）番（明）番（教）



これからの作品締切日と課題

令和6年6月号～9月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
地域に 貢献	花束	天気図	初夏	雨水	川上	ピン	と	6月9日	6月
やまの ことり	研究発表	節電	仕上げ	あじさい	タイヤ	かえる	つ		
太陽の 季節	知恵	夏至	開会	雲	たなばた	ほたる	す	7月7日	7月
夏河をこす うれしさよ 手にぞうり	選手宣誓	ソーダ水	自由形	天の川	手あらい	うきわ	あさ		
生きる 希望	神秘	ガラス玉	登場	月夜	工作	ゆかた	め	8月4日	8月
夏草や兵ど もが夢の跡	天体観測	達成	右はらい	花火	かき氷	さなぎ	せみ		
虫鳴く夜	交流	防災	満月	秋風	星	えいが	よ	9月8日	9月
おみな えし	不言実行	敬老の日	ポスター	大海	王さま	みのり	うみ		

6月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

る	
がい	い
います	け
ます。	には
	はあ
	ひ

小2

文	
をか	メ
きま	モ
ました	をも
。	とに
	さく

小3

しい	
いは	口
つ	の
音を	形を
しよう	まねて
。	正

小4

と	ず	
ても	なり	庭
重	に	の
そう	実	ウ
です	を	メ
	つけ	の
	て	木
	す	が
		、
		す

小5

付	結	
近	び	ス
し	つき	ズ
か	が	メ
住	強く	は、
ん	く、	人
で	い	間
い	ない	と
の		の

小6

射	せん	パ
状	門	リ
に	を	の
の	中心	道
び	とし	路
て	は	は、
い	が	い
ます	て	放
	い	

中学生

産	群	馬
に	成	馬
登	二	の
録	十	富
さ	六	岡
れ	年	製
ま	に	糸
し	世	場
た	界	は、
	文	
	化	
	遺	

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第86回 LINE(ライン)の普及と手書き文字の今後

今日では、スマホの普及により、若い人たちに限らず私たちの年代でも連絡手段として通話・メールアプリの「LINE(ライン)」を用いることが多くなつた。ラインは短い言葉や文章で気軽に打つて、しかもマークや絵のスタンプが入れられる。特定の相手だけではなく、ラインの中に登録したグループに送ると、そのグループ全員に要件が送信でき、文字で会話できる機能はとても便利。各書道教室の受講生たちに連絡するのに便利なので、私も重宝している。私は、なるべく丁寧な文章で打つことにしているが、20代前後の若者たちの間では、「文章はなるべく短く」これはわかるのだが、「読点(・)や句点(。)」は用いないで打つのが当たり前」ということを聴いて驚いた。ちょっと不思議に思い、学生に尋ねてみると、ラインの文章中に読点や句点が入っていると「相手が冷たい」「ぶっきらぼう」に見えると同じようなことを教えてくれた。世代間での、すでにラインの言葉の使用法にも違いがあることを知った。

学生に「では、どのように打つのか例を教えてください」と尋ねると、ラインでは、「ありがとー」「ありがと!!」「ありがとー【スマイルマーク】」などいくつかのパターンがあると教えてくれた。一般的な手紙を書く時のように「ありがと。」と最後に句点を打つと、若者たちのライン上では、ここで「はい、おしまい。」と縁も切れてしまうような感じがして、受け取った側が「愛想が無い」という感覚で捉えられるからとのことだそうである。私から見ると正しい言葉と用法を用いてほしいと思ふわけだが、若い世代では言葉に対する感覚も変化しているのだなあと感じた。電話という手段があるが、相手が忙しいときに掛けると失礼になるが、ラインなら相手の動向をあまり気にしないで

打てるのでいいという。私は、長文はEメールで、短文はラインで送信することにしてはいるが、ラインは使い方によって短文も長文も送れ、メモもできる。指で打つことによって即座に言葉や写真が相手に伝えられるということはハガキや封書よりも手軽で何倍も速い。

ところで、これらのアプリの普及によって、急激に手紙・ハガキを手書きで書かないばかりか、書けない若者が増えてきた。これは大変嘆かわしいことである。このまま放置していると生活の中の手書き文字がだんだんどこか急激に無くなっていく傾向にあるので憂慮すべきと考える。私たちは、芸術としての書や、書写として正しく整った文字を教えるだけでなく、その根本である手書き文字を使うといいといわれてきた伝統の書式や方法を、いまこそ若い世代に伝え、普及していかないと、手遅れになると考える。

本学の授業では三年前からパソコン持参が全員必修となった。講義の授業においてパソコンで授業内容を直接打ち込み、ノートを持ってこない学生がいる。私の授業ではノートを必ず用意することとしているが、先日、スマホしか持っていない学生がいて授業中に触れているので注意をすると、まさしくノート代わりに使用しているという。ノートは持ってきても授業終了後に黒板の写真をスマホ等で撮ってから出るという者まで現れた。手書きすることが当たり前であった私たちにとって信じられない光景が現実起こっているのである。

(私がこの原稿を仕上げ入稿したのが今年2月15日です。ところが13日後、毎日新聞2月28日夕刊1面にほぼ同じ内容の記事「LINEが映す世代のズレ」が掲載されました。この問題は新聞記者にとっても、とても関心の高いことなのでですね。補記しておきます。)

今 月 の ホ ー プ



小六 柴田 芹奈 (正華会)

難しいバランスの四文字でしたが美しく調和させ、しかも、一点一画しっかりと基本を踏まえた用筆で見事です。



小四 田中 柊羽 (東匠)

線がしっかりしていて、トメ・ハネも良く、リズムがあり、名前まで見事な作品。日頃の学習の成果の賜物です。

支那名	うななみ	段・級		学 年	中三	氏 名	石毛 春名
	三月を弥生という。「弥はます ます、生は生える、つまり草木が だんだん芽吹く月の意である。						

中三 石毛 春名 (うななみ)

リズムの良い行書作品。行にゆがみがなく曲線的な温かみのある字形で、名前まで一貫性があり立派な作品です。

支 部 名	鴨下		
	だん・きやう		
		がくねん	
	一	なまえ	
	中村あかり		
	たのしみです。	花をみるのが	

小一 中村 灯里 (鴨下)

一字一字が力強く丁寧に書かれた作品で感動しました。名前も堂々と立派に書けました。見事です。

● 指の位置を確かめよう。

こうひつ
● 硬筆の持ち方



持つ位置の高さを確かめよう。



親指、人さし指、中指の三点でしっかり支える。

えんぴつ
鉛筆

親指、人さし指、中指の三本の指で支える。力は入れすぎない。



< お 知 ら せ >

・新中学1年生の新段・級は、下記の表のとおり決定いたしました。

6年生の時の段・級	新中学1年生の新段・級	6年生の時の段・級	新中学1年生の新段・級	6年生の時の段・級	新中学1年生の新段・級
3 級	4 級	初段上	優級上	特待生	二段
4 級	5 級	初 段	優級上	準特待生	初段上
5 級	6 級	準初段	優 級	五段上	初 段
6 級	7 級	秀級上	優 級	五 段	初 段
7 級	8 級	秀 級	特 級	四段上	準初段
8 級	9 級	優級上	特 級	四 段	準初段
9 級	10 級	優 級	1 級	三段上	秀級上
10 級	10 級	特 級	1 級	三 段	秀級上
		1 級	2 級	二段上	秀 級
		2 級	3 級	二 段	秀 級

◎出品に際してのご注意◎

- ・システムの都合上、幼稚園・保育園生全員が新1年生の出品券になっていますので、「昇級試験受験一覧」にて学年の訂正をお願いします。
- ・4月提出の競書は新学年の課題を書いてください。

書道芸術学生版 春季昇段級試験規定

・毛筆
・硬筆

一、しめきり日 5月7日(火)

一、発表 表 5月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

- 幼・小学校一年生 とり(かいしよ)
 - 〃 二年生 えび(かいしよ)
 - 〃 三年生 山里(かいしよ)
 - 〃 四年生 決定(かいしよ)
 - 〃 五年生 花粉(かいしよ)
 - 〃 六年生 太陽(かいしよ)
 - 中学校一年生 熱意(楷書か行書)
 - 〃 二年生 菜園(楷書か行書)
 - 〃 三年生 海峡(楷書か行書)
- 一、受験料 各部一点 六〇〇円

毛筆
硬筆 } 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書(かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ	
神田 書道 太郎	
	① 1013021200013 五段
昇試 (5月7日締切)	
① 毛 筆	
神田 中3	
書道 太郎	
五段	
	
1013021200013	

○応募書類は4月下旬に6月号といっしょに、受験番号を記入した応募書類と「昇段級試験用」バーコード出品券を送付します。

○毛筆・硬筆とも左図のように記入して出品する。

作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

一年	しよどう	たろう				
			と	り		
			○	○	○	○
			↑	1001		
			例	団体番号		

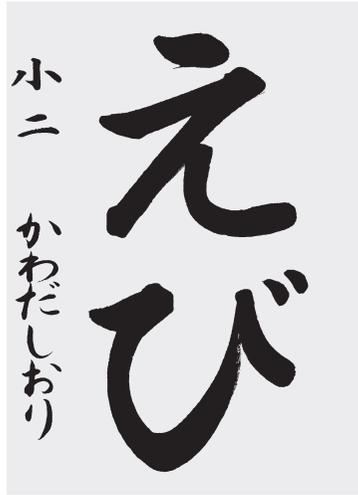
※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



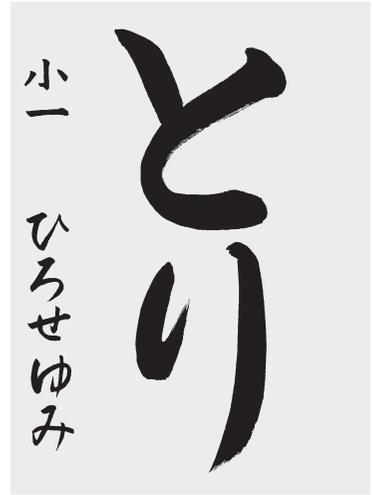
名越蒼竹先生

小学 2 年



川島舟錦先生

幼・小学 1 年



広瀬舟雲先生

小学 6 年



名越蒼竹先生

小学 5 年



広瀬舟雲先生

小学 4 年



川島舟錦先生

中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年

楷
書



辻元大雲先生



小竹石雲先生



種谷萬城先生



辻元大雲先生



小竹石雲先生



種谷萬城先生

行
書

小学 2 年

支 部 名				
段・級				
学 年	二			
名 前	上	山	正	人
	み	が	と	ど
	き	ま	し	た
	。			
	フ	ラ	ン	ス
	か	ら	手	が

幼・小学 1 年

支 部 名				
段・級				
学 年	一			
名 前	サ	エ	キ	ル
	し	て	あ	そ
	ん	だ	。	
	お	に	ご	っ
	こ	を		

硬筆の部

- 一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。
- 一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。
- 一、課題（各学年用）参考手本通りに書く。
- 一、「空欄」「。」「、」「も正しく書く。

小学 4 年

支 部 名				
段・級				
学 年	四			
名 前	早	坂	和	久
	こ	と	を	知
	り	ま	し	た
	。			
	市	章	を	調
	べ	て	み	る
	と			
	い	ろ	い	ろ
	な	意	味	が
	あ	る		

小学 3 年

支 部 名				
段・級				
学 年	三			
名 前	米	田	花	音
	あ	そ	ぶ	草
	原	の	朝	。
	ス	ー	ホ	の
	白	い	馬	の

- 一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
 - 一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。
 - 例「さえき るき」
 - 支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。
 - 一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。
- ※5月号の購読部数を越える受験はできません。

支部名	
段・級	
学年	中三
名前	本多麻里絵

良く含む。苦みが魅力。
分類されるが、ビタミンやミネラルを
にがうり(ゴーヤ)は淡色野菜に

支部名	
段・級	
学年	六
名前	園田リン

自分の考えも加えよう。
けを書くのではなく、
ただ経験した事実だ

支部名	
段・級	
学年	五
名前	加東都

どちらにも使えます。
は、日本語の姉・妹の
シスターという英語

春季昇段級試験
で硬筆の部を受験
される方は、
本院指定の用紙
(月例と同じ用紙)
を使用するか、も
しくは指定の用紙
をコピーして、原
紙の大きさにあわ
せて切って出品し
てください。

ご注文は、専用
の払込取扱票にて
前納でお申込みく
ださい。
払込取扱票をお
持ちでない方は事
務所へご連絡くだ
さい。

支部名	
段・級	
学年	中三
名前	本多麻里絵

良く含む。苦みが魅力。
分類されるが、ビタミンやミネラルを
にがうり(ゴーヤ)は淡色野菜に

春季昇段級試験

硬筆の部

を受験される方へ

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ③ 4・5・6年生用
- ② 2・3年生用 ④ 中学生用

料金表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下 (1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

第58回 高野山競書大会案内

併催／第39回日中青少年友好交流競書大会

高野山競書大会に出品ご協力を

高野山競書大会は本年58回を迎えます。皆さまご存知の通り、高野山書道協会は日本の全書壇を網羅し、弘法大師空海の遺徳を偲び、書道文化の育成奨励を目的として組織されました。本院としましてもこの趣旨に賛同し、例年多くの会員諸氏のご協力を頂いております。本年も多数のご参加を心よりお待ちしております。新しく出品希望の方は、高野山競書大会総本部までお問い合わせください。

○ 優秀作品展示

八月一日(木)～八月十五日(木)

会場 高野山 総本山金剛峯寺

○ 関東地区優秀作品展示

八月二十三日(金)～八月二十五日(日)

会場 東京・高輪 高野山東京別院

― 学生部規定 ―

一、資格 幼児・小・中・高校生

一、用紙 半紙(縦書き)

一、課題 内容自由 一人十点まで

一、奉賛出品料 団体出品……一点 三五〇円

個人出品……一点 五〇〇円

一、出品手続 指導者の指示にしたがって提出し、団体登録

された書道会(教室)・学校ごとにまとめ

す(個人出品は、直接大会総本部宛に作品と

出品票を郵送してください。連絡先を明記)

○ 出品締切日 五月十三日(月) 必着(学生部・一般部共)

中国の学童も参加

本大会は、日中青少年友好交流競書大会を併催しており、ここに第三十九回を迎え、中国学童の作品もともに審査します。

○ 奉納法会 (状況により、変更になる可能性があります)

六月一日(土) 最終審査日

総本山金剛峯寺で「第五十八回高野山競書大会作品奉納法会」を行い、出品者の書技向上と日本書壇の発展を祈願いたします。全作品は奉納されますので、お返しできません。

○ 表彰式 (状況により、変更になる可能性があります)

八月二日(金)の予定 式場 総本山金剛峯寺

(金剛峯寺賞以上の受賞者は高野山で表彰式を行います)

― 一般部規定 ―

〔競書の部・献書の部に分かれる〕

一、資格 大学生及び社会人

一、用紙・課題 出品手続の規定は学生部と同じ

一、奉賛出品料 団体出品……一点 七〇〇円

個人出品……一点 一、〇〇〇円

献書の部 (一般の方が審査を受けずに参加できます)

一、資格・用紙・課題・出品手続の規定は競書の部と同じ

一、奉賛出品料 競書の部と同じ

● 作品の下部右下に「献書」と明記のこと。

● 献書された方には感謝状と記念品を贈呈。

作品・奉賛出品料送付先

〒648 0294 和歌山県伊都郡高野町高野山一三三 総本山金剛峯寺内

高野山競書大会総本部

☎〇七三六(五六〇)二〇二二(直)

郵便振替〇〇九九〇―〇一三三〇九二六

(名義 高野山書道協会)

主 催 高野山 総本山金剛峯寺

主 管 弘法大師 高野山書道協会

後 援 毎日新聞社・全日本書道連盟

高野町教育委員会・高野山住職会

高野山枢議會・高野山真言宗参与会

幼・1年

と
小一 たなかいく

つ
の
小一 白川さくら

2年

ピン
小二 あべれいこ

るかえ
小二 山口つとむ

3年

川上
小三 山田さち

ヤタイ
小三 千谷ゆり

4年

雨水
小四 坂洋平

さあいび
小四 谷口泉

5年

初夏
小五 田辺和子

げ仕上
小五 松田和夫

6年

天気
凶気
小六 高木厚

節電
小六 金子和夫

中学

花束
中一 井上麻央

研究
発表
中一 岸本美子

地域に
貢献
中三 田中春子

やまの
こもり
中三 伊田和子

編集余録

○新中学一年生の皆さんは、現在の段級をもとにした移行基準に従って、新しい段級で始めていただきます。新段級表を掲載しましたので、ご確認ください。

○春季昇段級試験の締め切りは、5月7日です。一生懸命練習をして良い作品を仕上げてください。毎月の競書から、毛筆、硬筆ともに名前まで気持ちを切らずに丁寧に書いてください。また、硬筆の作品は、消しゴムを使わないように努力してください。今月号の38ページに「硬筆の持ち方」を載せましたので、正しい持ち方で書きましょう。皆さんの力作を期待しております。

○今月の中学生の硬筆課題「国破れて山河在り、城春にして草木深し」は中国唐代の詩人・杜甫（712～770）の漢詩「春望」の冒頭の一節です。原文は「国破山河在 城春草木深 感時花溅泪 恨别鸟惊心…（以下略）」と続き、全四十字で構成された漢詩です。この「春望」は杜甫の詩の代表作で、安史の乱で反乱軍に軟禁されていた杜甫が、戦乱で荒れ果てた都（長安）の春景色を眺めた際、嘆き悲しみ詠まれた詩として、日本でもとても有名です。冒頭の現代語訳は、「国都（長安）は戦乱によって滅ぼされてしまったが、自然の山河は今もここにある。この長安の町にも春が訪れ、草木は深く生い茂っている。」という意味で、変化する人の世と変わらない自然の様子を詠っています。（後編）

○今月号の38ページに「硬筆の持ち方」を載せましたので、正しい持ち方で書きましょう。皆さんの力作を期待しております。